

## 大学教育再生加速プログラム(AP) 事後評価結果

整理番号	51	大学等名	工学院大学
テーマ	テーマⅣ 長期学外学修プログラム（ギャップイヤー）		

### （「大学教育再生加速プログラム委員会」による評価）

#### 【総括評価】

A：計画どおりの取組が行われ、成果が得られていることから、本事業の目的を達成できたと評価できる。

#### 【コメント】

大学改革の加速については、本事業が高い水準で実施されたと評価できる。しかし、本事業の実施と、3つのポリシーの見直し等の全学的な教育改革がどのように関連し、大学改革が加速されたのかが明確に示されているとは必ずしも言えない。本事業で得られた成果と大学全体の教育改革とがより密接に関連付けられ、持続的に進展することが強く望まれる。

事業の具体的な取組の進捗状況については、各学部でクォーター制が順次導入され、学生が履修しやすいような学事暦の工夫や参加機会の確保に対する取組も行われていることは評価できる。他方で、事前・事後指導については、その「実質化」という観点から、更に積極的な取組がなされることが期待される。また、大学予算の確保のみならず、活動資金のマッチングファンドの積極的な検討も引き続き行うことを期待したい。

事業の定着に向けた実施体制及び継続のための取組状況について、アクティブ・ラーニングの手法を取り入れたFDのように、全学的に提供される実践型のFD・SDへの各学部教員の参加率が十分であるとは言い難いことから、参加率の向上に努め、質の高い教育プログラムの持続的な実施を担う教職員の意識・能力を向上させていくことが期待される。これに関連して、多くの組織や人員が本事業の実施に関与しているが、連絡・調整・報告の機会が多く、機動的に動ける体制になっているか、効率的にPDCAサイクルが回る仕組みになっているかを判断することは難しい。引き続き、効果的・効率的な体制・運用について検討することが望まれる。また、ハイブリッド留学の発展プログラムとして補助期間終了後に新たに導入予定の「ディプロマツト留学」について、今般の新型コロナウイルス感染拡大等の外的要因の影響もあると考えられるが、今後の展開に期待したい。

事業成果の普及について、ハイブリッド留学という新たなコンセプトで展開された本事業の成果は、他大学等においてグローバル化を検討する一助となることが期待される。事業成果の積極的かつ効果的な普及に向けて、Webサイトの充実を含め多様なメディアでの広報活動等も期待したい。